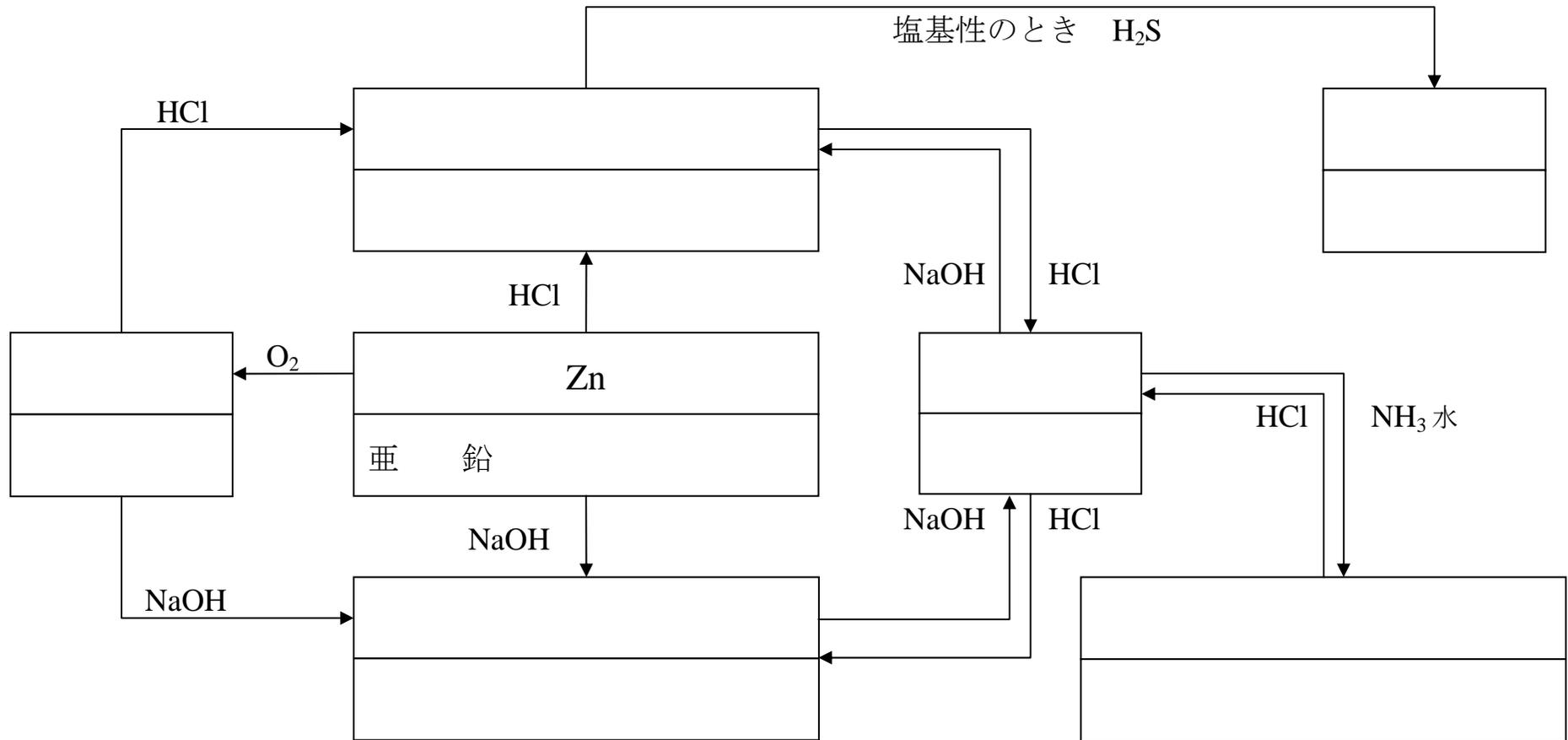
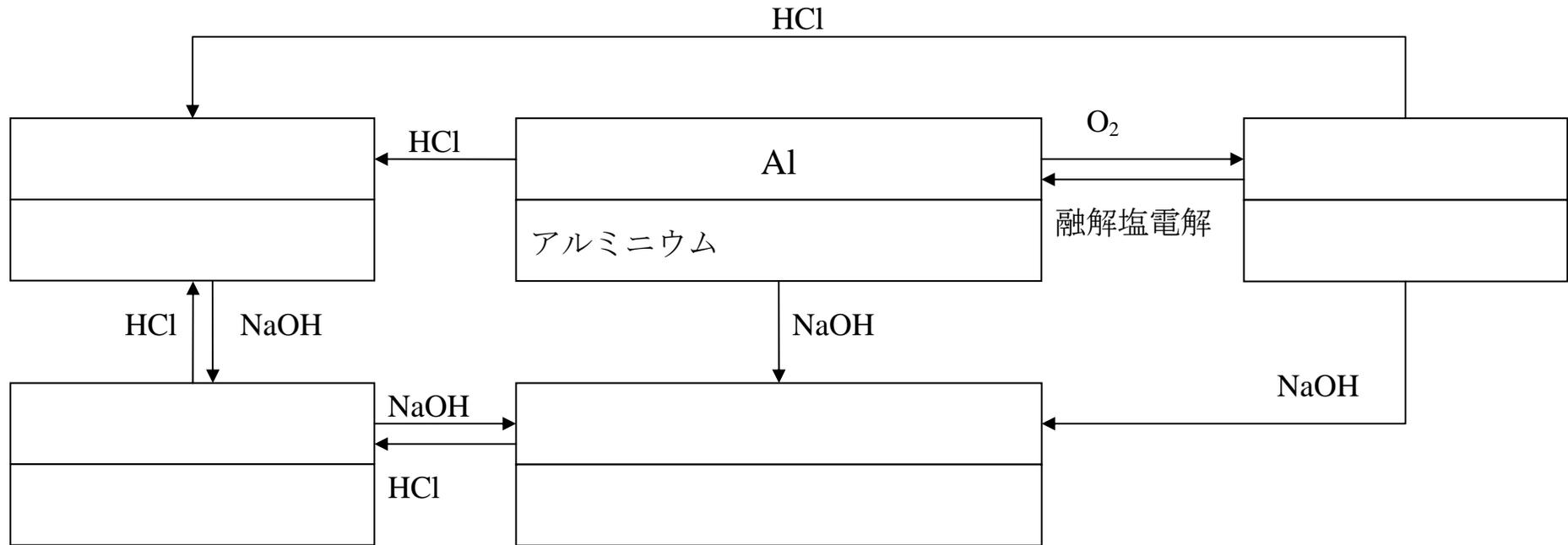


両性元素に関する反応(亜鉛)



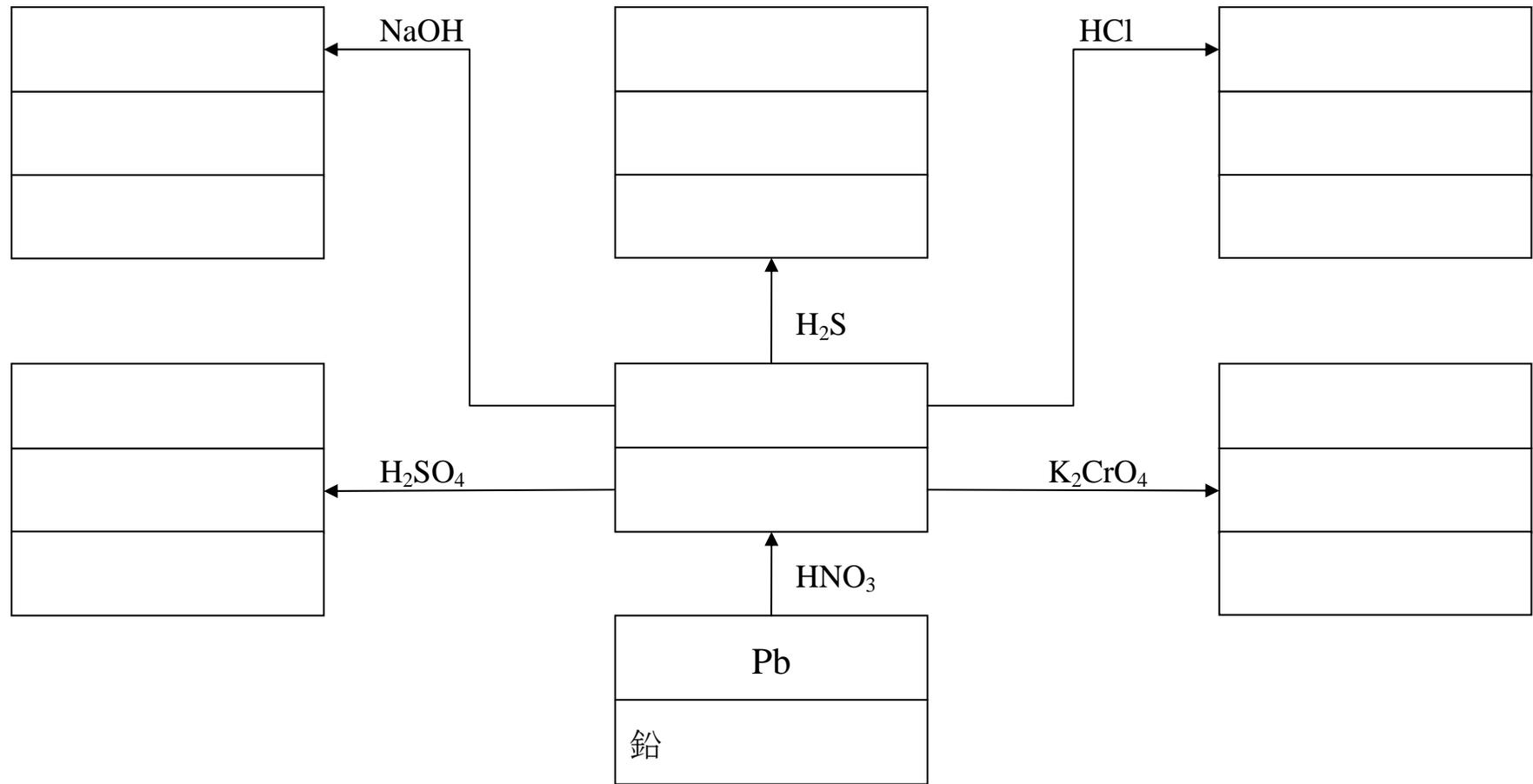
- 亜鉛のメッキをした鋼板を()という。
- 銅との合金を()または()という。
- 酸化亜鉛 ZnO は、()ともいう。

両性元素に関する反応(アルミニウム)



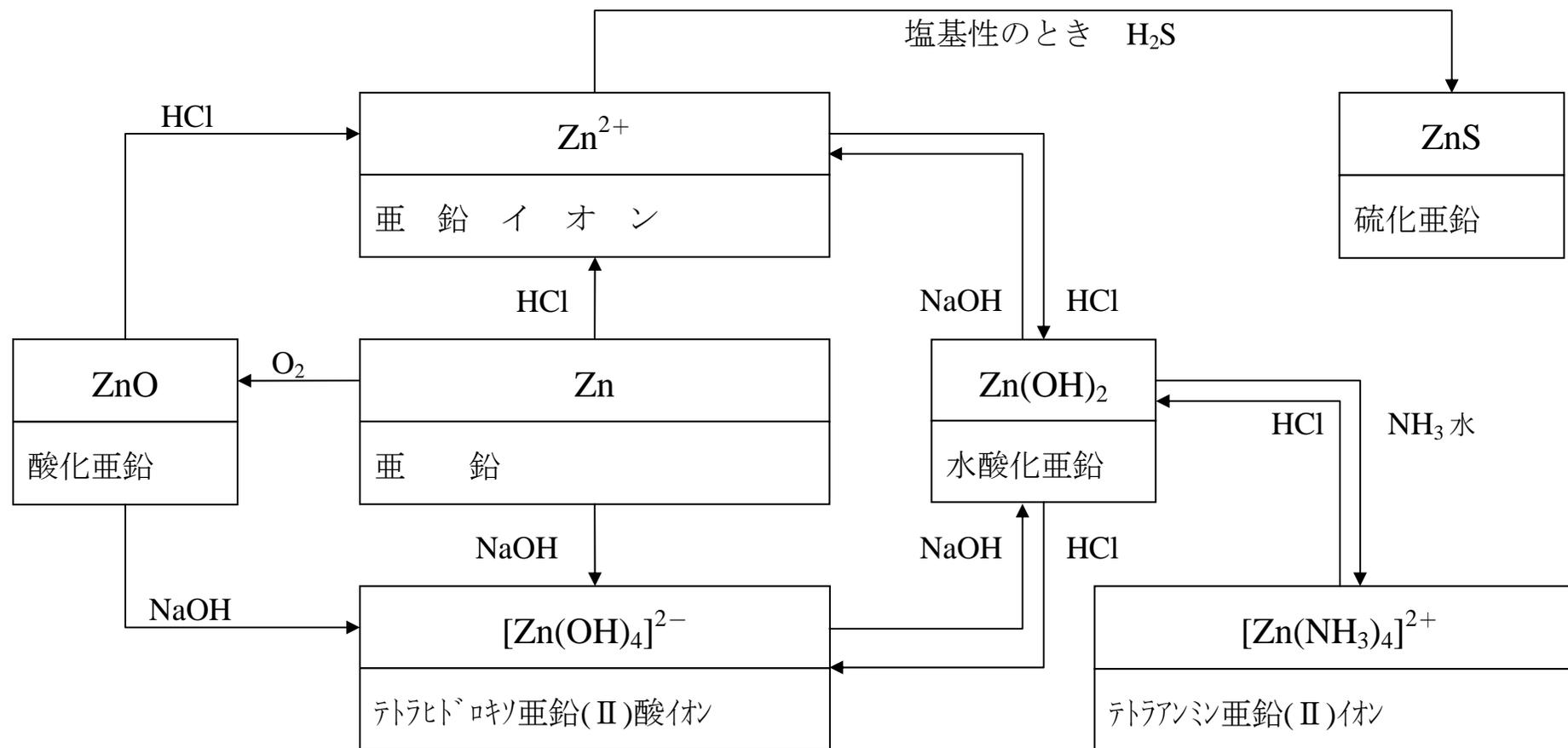
- 酸化アルミニウム Al_2O_3 は、()ともいう。人工的に酸化し、形成した酸化被膜を()という。
- 鉄やチタンを微量に含む Al_2O_3 を()、クロムを微量に含む Al_2O_3 を()という。
- 銅などとの合金を()という。
- 濃硝酸や濃硫酸に反応させると、()をつくり溶けない。

両性元素に関する反応(鉛)



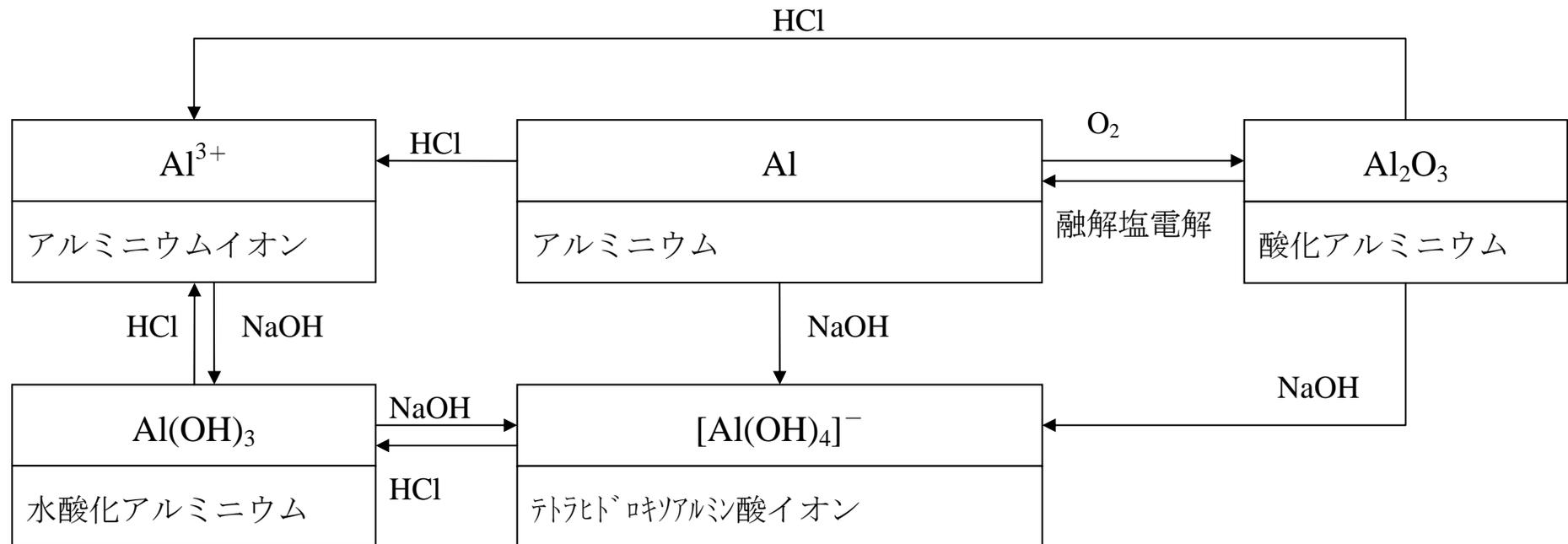
• スズと鉛の合金を()という。

解答 両性元素に関する反応(亜鉛)



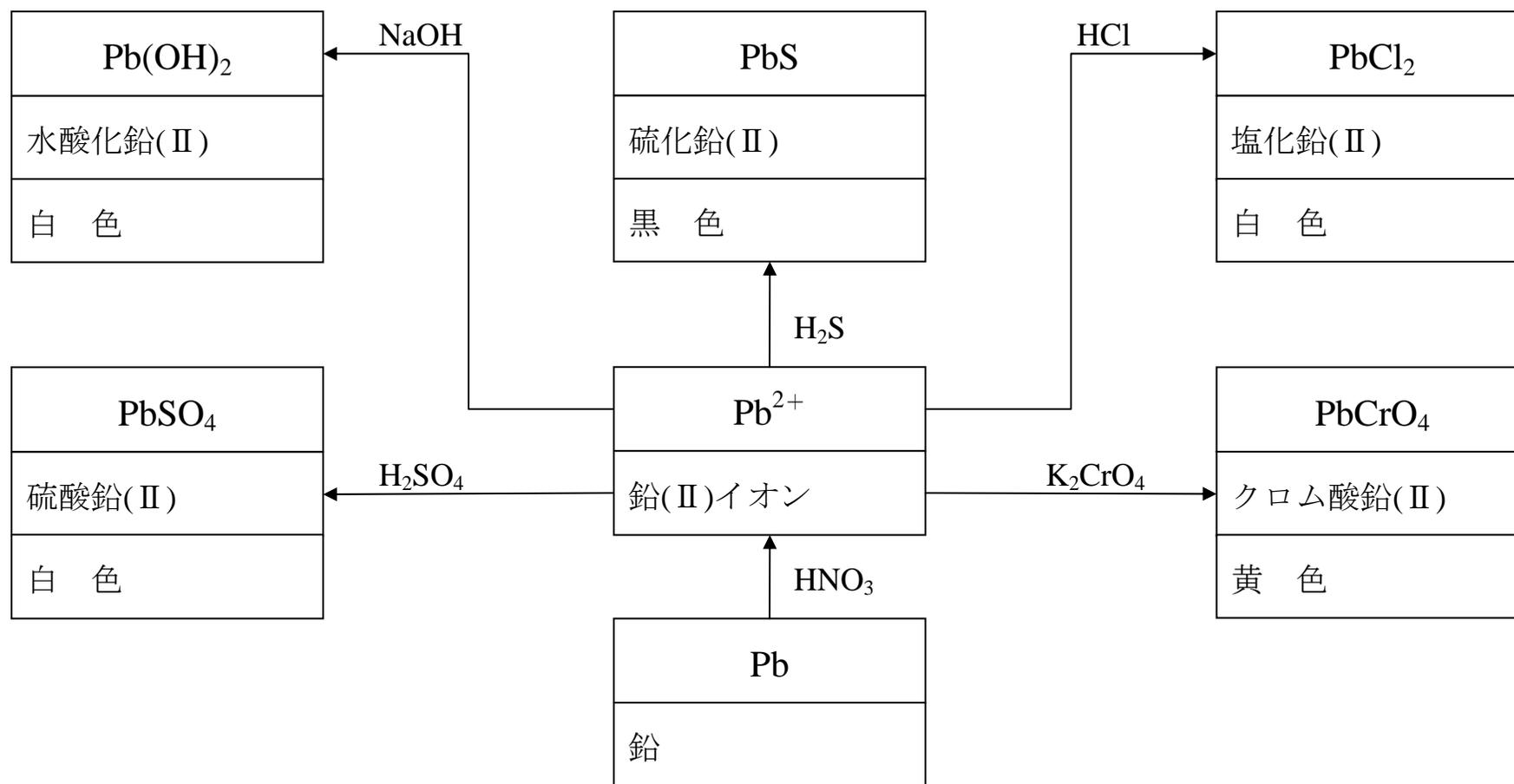
- 亜鉛のメッキをした鋼板をトタンという。
- 銅との合金を黄銅または真鍮(しんちゅう)という。
- 酸化亜鉛 ZnO は、亜鉛華ともいう。

解答 両性元素に関する反応(アルミニウム)



- 酸化アルミニウム Al_2O_3 は、アルミナともいう。人工的に酸化し、形成した酸化被膜をアルマイトという。
- 鉄やチタンを微量に含む Al_2O_3 をサファイア(青玉)、クロムを微量に含む Al_2O_3 をルビー(紅玉)という。
- 銅などとの合金をジュラルミンという。
- 濃硝酸や濃硫酸に反応させると、不動態をつくり溶けない。

解答 両性元素に関する反応(鉛)



• スズと鉛の合金をハンダという。